

ペイメント

インターロッキングブロックの品質規格

試験項目	普通品		透水性		保水性		試験方法
	歩行者系道路	車道	歩行者系道路	車道	歩行者系道路	車道	
曲げ強度 (MPa)	3.0以上	5.0以上	3.0以上	5.0以上	3.0以上	5.0以上	JIS A 5371
すべり抵抗値 (BPN)	40以上	60以上	40以上	60以上	40以上	60以上	ASTM E 303
透水係数 (cm/sec)	—	—	1.0×10 ⁻² 以上		—	—	JIS A 5371
保水量 (g/cm ³)*1	—	—	—	—	0.15以上		JIS A 5371
吸水性 (%) *2	—	—	—	—	70以上		JIS A 5371

*1 保水性は保水量で規定し、次式により算出する。

$$\text{保水量 (g/cm}^3\text{)} = \frac{\text{湿潤質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}}{\text{供試体の体積 (cm}^3\text{)}}$$

*2 吸水性は吸上げ高さで規定し、次式により算出する。

$$\text{吸上げ高さ (\%)} = \frac{\text{30分後の吸上げ質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}}{\text{湿潤質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}} \times 100$$

コンクリート平板の品質規格

推奨仕様 [平板の曲げ強度] JIS A 5371に準拠

単位 N/mm²

種類	略号	呼び	平板の曲げ強度		
			厚さ30mm	厚さ60mm	厚さ80mm
普通平板	N	300	4.0	4.0	4.0
		400	4.0	4.0	4.0
		450	—	4.0	4.0
		500	—	4.0	4.0
透水性平板	P	300	—	3.0	3.0
		400	—	3.0	3.0
		450	—	3.0	3.0
		500	—	3.0	3.0
保水性平板	M	300	—	3.0	3.0
		400	—	3.0	3.0

推奨仕様 [平板の透水性]

単位 cm/s

種類	略号	透水性
透水性平板	P	透水係数 1×10 ⁻² 以上

推奨仕様 [平板の保水性]

種類	略号	保水性	吸水性
保水性平板	M	保水量 0.15g/cm ³ 以上	30分後の吸上げ高さ 70%以上

輝度比測定例

製品名	品番	輝度比
タマバーム	Isシリーズ B2	2.02
オーシャンベブルスルー	灰緑	3.11
オーシャンベブルスルー	錆	2.06
オーシャンベブルスルー	梅柴	2.21
オーシャングラニットスルー	GR-W12	2.02
オーシャングラニットスルー	GR-B11	2.62
ユニバーサルFG	GF06	2.17
オーシャンスリット	OS-02	2.69
オーシャンスリット	OS-06	2.46
オーシャンスリット	OS-09	2.19
オーシャンスリット	OS-10	3.14
アーツルー	P-01	2.89
アーツルー	P-02	2.00
アーツルー	P-05	2.57
遮熱ILB アーツルー	SYA13	2.43
遮熱ILB アーツルー	SYA23	2.29

製品名	品番	輝度比
遮熱ILB 高反射塗料タイプ	OS-CT40	2.31
遮熱ILB 高反射塗料タイプ	AT-CT40	2.71
遮熱ILB 高反射塗料タイプ	AT-CT45	3.49
オーシャンフラット	UV01	2.80
オーシャンフラット	UV02	2.40
オーシャンフラット	UV03	3.00
オーシャンフラット	UV04	3.00
シルキーストーン	SS06	2.09
オーシャンスタンダード	GH06	2.40
オーシャンスタンダード	GH07	2.60
オーシャンスタンダード	GH08	2.10
グランパム	H06	2.45
グランパム	H12	2.78
コレクション	C06	2.17
コレクション	C12	2.37

※当社の視覚障害者誘導用ブロック (黄色) (プレス成型品) との輝度比です。輝度比は季節、時刻、天候等で測定結果が変わりますので、参考値として下さい。

[普通道路の交通量の区分]

交通量区分	舗装計画交通量 (単位:台/日・方向)	49kN標準荷重疲労破壊輪数(単位:回)	
		設計期間10年	設計期間20年
N7	3,000以上	35,000,000	70,000,000
N6	1,000以上 3,000未満	7,000,000	14,000,000
N5	250以上 1,000未満	1,000,000	2,000,000
N4	100以上 250未満	150,000	300,000
N3	40以上 100未満	30,000	60,000
N2	15以上 40未満	7,000	14,000
N1	15未満	1,500	3,000

[普通道路(交通量区分N1,N2)の構造例]

交通量区分	設計期間 (年)	ブロック層の TA(cm)	設計CBR (%)	ブロック層(cm)		上層路盤 (cm)		下層路盤 (cm)	合計厚さ (cm)	TA' (cm)	必要TA (cm)
				ブロック	敷砂	粒度調整 砕石	クラッシュ ラン				
N1	10	8	3	8	2	7	7	24	12.2	9	
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	9	
		8	6以上	8	2	8	-	18	10.8	8	
	20	8	3	8	2	7	7	24	12.2	10	
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	10	
		8	6以上	8	2	8	-	18	10.8	9	
N2	10	8	3	8	2	7	7	24	12.2	12	
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	11	
		8	6以上	8	2	8	-	18	10.8	10	
	20	8	3	8	2	8	10	28	13.3	13	
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	12	
		8	6	8	2	9	-	19	11.2	11	
8	8以上	8	2	8	-	18	10.8	10			

[普通道路(交通量区分N3,N4)の構造例]

交通量区分	設計 期間 (年)	ブロック 層の TA(cm)	設計 CBR (%)	ブロック層(cm)		上層路盤 (cm)			下層路盤 (cm)	合計厚さ (cm)	TA' (cm)	必要TA (cm)
				ブロック	敷砂	瀝青安定 処理	セメント 安定処理	粒度調整 砕石	クラッシュ ラン			
N3 *1	10	8	3	8	2	5	-	-	12	27	15.0	15
		8	4以上	8	2	5	-	-	10	25	14.5	14
	20	8	3	8	2	5	-	-	20	35	17.0	17
		8	4	8	2	5	-	-	12	27	15.0	15
		8	6以上	8	2	5	-	-	10	25	14.5	13
N4 *2	10	8	3	8	2	8	-	-	19	37	19.2	19
		8	4	8	2	7	-	-	18	35	18.1	18
		8	6	8	2	5	-	-	16	31	16.0	16
		8	8以上	8	2	5	-	-	10	25	14.5	14
	20	8	3	8	2	10	-	-	20	40	21.0	21
		8	4	8	2	8	-	-	23	41	20.2	20
		8	6	8	2	5	-	-	20	35	17.0	17
		8	8	8	2	5	-	-	16	31	16.0	16
		8	12以上	8	2	5	-	-	10	25	14.5	14
		8	3	8	2	-	15	-	15	40	20.0	19
セメント 安定処理	10	8	3	8	2	-	15	-	19	44	21.0	21
	20	8	4	8	2	-	15	-	15	40	20.0	20

*1 交通量区分N3は、セメント安定処理を使用すると経済性に欠けるため瀝青安定処理の使用を原則とする。

*2 交通量区分N4で、設計期間10年、設計CBR4以上の場合と、設計期間20年、設計CBR6以上の場合では瀝青安定処理の使用を原則とする。

普通道路のN5以上や小型道路、および透水性、排水性、保水性舗装の構造につきましてはご相談ください。